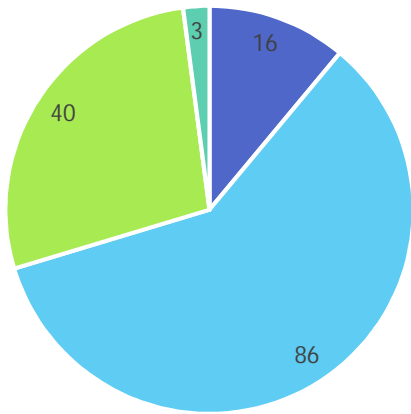


主訴が異なる場合でも、体格や診察で摂食障害を疑うようにしていますか？

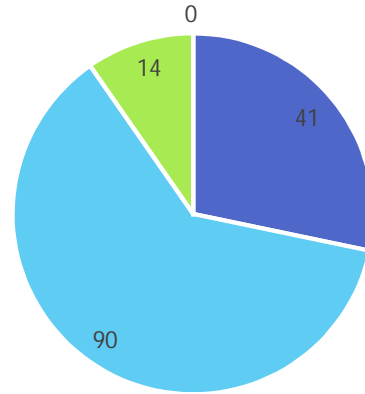
5-A-a 主訴が異なる場合でも、体格や診察で摂食障害を疑うようにしている（勤務医）



- よく出来ている
- だいたい出来ている
- あまり出来ていない
- まったく出来ていない

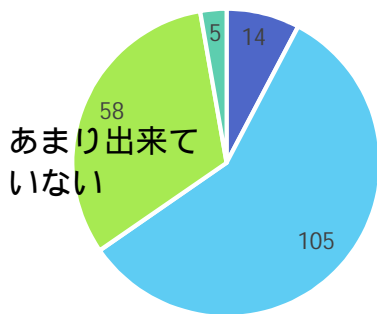
体重減少や摂食不良が主訴の場合、常に摂食障害を鑑別にいれている。

5-A-b 体重減少や摂食不良が主訴の場合、常に摂食障害を鑑別疾患に入れている（勤務医）



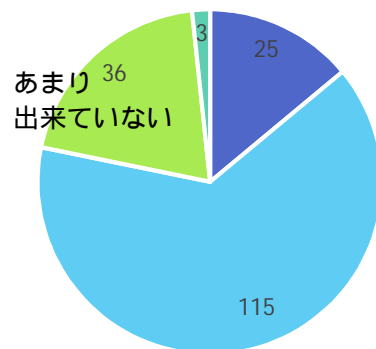
- よく出来ている
- だいたい出来ている
- あまり出来ていない
- まったく出来ていない

5-A-a 主訴が異なる場合でも、体格や診察で摂食障害を疑うようにしている（クリニック）



- よく出来ている
- だいたい出来ている
- あまり出来ていない
- まったく出来ていない

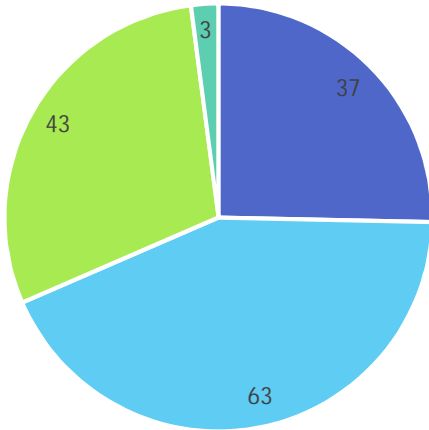
5-A-b 体重減少や摂食不良が主訴の場合、常に摂食障害を鑑別疾患に入れている（クリニック）



- よく出来ている
- だいたい出来ている
- あまり出来ていない
- まったく出来ていない

成長曲線を作成して早期発見できるようにしている。

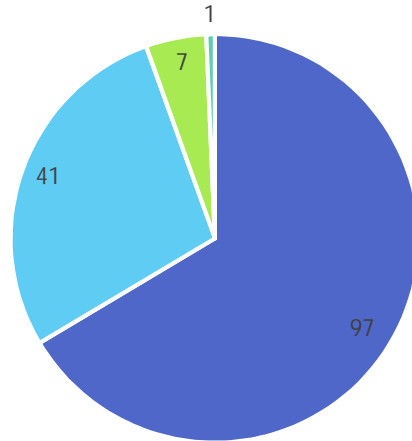
5-A-c 成長曲線を作成して早期発見できるようにしている（勤務医）



- よく出来ている
- だいたい出来ている
- あまり出来ていない
- まったく出来ていない

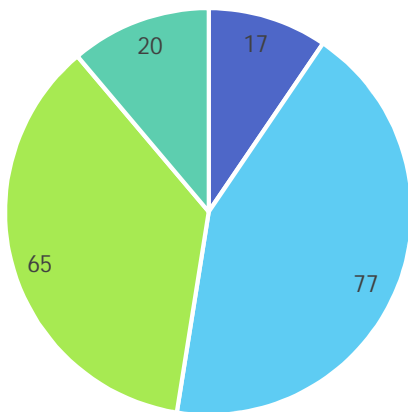
初期診療で役立つ「摂食障害の対応マニュアル」の作成は必要か？

6-b 初期診療で役立つ「摂食障害の対応マニュアル」の作成（勤務医）



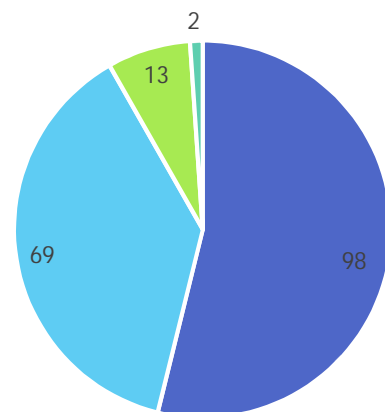
- 非常に必要である
- やや必要である
- あまり必要ではない
- まったく必要ではない

5-A-c 成長曲線を作成して早期発見できるようにしている（クリニック）



- よく出来ている
- だいたい出来ている
- あまり出来ていない
- まったく出来ていない

6-b 初期診療で役立つ「摂食障害の対応マニュアル」の作成（クリニック）



- 非常に必要である
- やや必要である
- あまり必要ではない
- まったく必要ではない

D. 考察

小児科医も摂食障害診療を行っているが十分な体制ではないことが明らかとなった。

AN 診療は病院勤務医の 90%、診療所医の 30%が年間 1 名以上経験しており、小児科領域では神経性やせ症の早期発見と対応が第 1 に必要と考えられた。いっぽう BN 診療経験は小児科医は乏しかった。神経性過食症は病識が乏しく、医療機関を受診する機会が少ないことも影響しているかもしれない。近年、神経性やせ症の経過中に、神経性過食症へ移行する小児も認められることから、診療経験の少ない小児科医にも神経性過食症の基本的な診断や対応を情報発信する必要があると考えられた。ARFID の診療は小児科医は神経性やせ症の次に診療経験があり、小児科診療にとって重要と考えられた。他院への紹介（AN）は、専門的小児科、児童精神科に紹介していた。診療所医は成長曲線の利用、鑑別診断に関する知識は十分ではなく早期診断に関する啓蒙が必要と考えられた。学校との連携は不十分であった。

小児科医が外来で使用できる初期治療マニュアルの作成が望まれた。この点を検討し、外来で役立つ「子どもの摂食障害」診療：早期発見と早期治療の手引き、を作成した（資料別紙）。子どもの摂食障害のトピックス、初診時の気をつける身体症状、やせの目安、外来診察のポイント、鑑別診断、診察時の注意点、学校や医療機関との連携、緊急入院の適応、再栄養症候群、上腸間膜症候群、最後に DSM-5 の診断基準の解説を加えた。

E. 結論

小児摂食障害診療において、小児科医の役割は決して低くないと考えられる。今後、小児科医への啓発も含め早期発見・早期対応が可能な医療連携システムの構築することにより、日本全国どの地域でも小児摂食障害の診療が可能になることが急務である。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Seike K, Hanazawa H, Ohtani T, Takamiya S, Sakuta R, Nakazato M: A Questionnaire

Survey of the Type of Support Required by Yogo Teachers to Effectively Manage Students Suspected of Having an Eating Disorder. *BioPsychoSocial Medicine*. DOI: 10.1186/s13030-016-0065-5 . 2016.

- 2) Seike K, Nakazato M, Hanazawa H, Ohtani T, Niitsu T, Ishikawa SI, Ayabe A, Otani R, Kawabe K, Horiuchi F, Takamiya S, Sakuta R: A questionnaire survey regarding the support needed by Yogo teachers to take care of students suspected of having eating disorders (second report). *Biopsychosoc Medicine*. 2016 Sep 29;10:28. eCollection 2016.
- 3) 作田亮一: 子どもの摂食障害, 子どもの摂食障害の治療. *教育と医学* 64 (3): 195-205, 2016

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし